

平成 27 年度政策討論会第二分科会要点記録

- ・日時 平成 27 年 8 月 18 日
- ・場所 会議室
- ・会議時間 13 : 00 ~ 14 : 00
- ・出席者 座長 岡林 憲二
副座長 金子 拓矢
井上 博
今口 千代子
岩崎 雅秋
烏野 隆生
米田 貴志 (五十音順)
- ・今回の狙い 本分科会のテーマは、「岸和田の観光におけるインバウンド観光客の取り込みについて」であるが、なぜこのテーマについて取り組むのかを議論し、その議論を通じて委員全員が明確な目的の共通認識を得ることを目的とする。

発言要旨

- ・外国人において岸和田に観光地としての目的が少ない。発信力が弱いので、泉州地域に住んでいる外国人に観光地を発信してもらおう等の取り組みが必要である。民間企業の力も活用すべき。
- ・まずは、私たち市民が地元を誇りをもつ必要がある。岸和田市には歴史や文化があるが、スケールが小さい。身の丈にあった観光振興策で良いのではないか。
- ・経済効果を狙うものである。宿泊施設が必要であり、体験型観光も有効であるので、地車祭りを活用するのはどうか。
- ・免税店及び宿泊施設が必要である。また、貝塚のユニチカ跡地の活用も参考にしたい。歴史的まちなみも有効利用したい。
- ・経済波及効果を狙うものである。まずは岸和田を観光する目的を作る必要がある。例えば石川県珠洲市の取り組みも参考になる。スポーツツーリズムや民間活力の導入、WIFI 使用環境整備も必要である。

- ・昨年、45年ぶりに、訪日外国人旅行者が日本人海外旅行者数を上回った。そして、訪日外国人旅行者の日本国内消費が、2兆円を超えた。岸和田市においても訪日外国人旅行者の消費を増やす方策を考えるべき。
- ・経済効果を狙うものである。宿泊施設が必要である。為替等に大きく左右される商品購入型の観光客を今から取り込むより体験型観光を提案していきたい。（席順）

結論 府内で近年急増する訪日客を本市に取り込み、その経済波及効果を得ることを目的として、今後その課題解決等について議論を深めていく。

以上